

## 沼田米子氏所蔵文書

葉山町下山口

当家は、旧下山口村名主を務めた家柄であって江戸時代の村絵図を豊富に伝えている。また、沼田家は、句会を開催されていた。『葉山町史料』（昭和33年刊行）に収録されている古文書2点と天保12年2月付名主沼田要助・組頭・百姓代が署名した「相州三浦郡下山口村絵図面」は、現在当家に伝存していない。全115点

## 高梨 昭氏所蔵文書

葉山町堀内

当家は、幕末に旧堀内村年寄、維新时期に同村名主を務めた高梨五郎右衛門家である。『葉山町史料』（昭和33年刊行）や『神奈川県史別編2 資料所在目録』では所蔵者が、「高梨 栄」氏の名前で収録されている。天明2年から明治8年にいたる総数161点。堀内村内の浜方と岡方との出入り関係資料、漁業関係、助郷、渡世関係等々があり、江戸時代後期から明治維新时期における村内の動向を知ることができる。

## 葉山政夫氏所蔵文書

葉山町堀内

当家は、江戸時代中期の宝暦7年に当時旧堀内村名主であった葉山市郎右衛門（半次郎政吉）家から兄輝行、同藤七と共に太七が持高五石で分家し、慶応2年8月7日百姓代であった太七が市郎右衛門後継名主に就任した。太七は、明治2年中に名主職を高梨五郎右衛門に引き継ぐが、同5年には名主廃止後の旧堀内村戸長となった。また、明治25年堀内に郵便局が出来ると郵便局長に、大正期から昭和期にかけては葉山村・町の村会・町会議員として活躍され公職に就かれることが多かった。明治初年から醤油の醸造開始し、昭和34年に営業を閉じるまで醤油「亀甲葉」を醸造した。醤油の品評については、本目録「状の2」に見られたとおりで、横須賀市三浦郡醤油醸造業組合の組合長を務められた。

所蔵される資料は、江戸時代中期、寛延3年から昭和30年代に至る文書に合わせ、中国で出版された漢籍・日本で刊行された漢籍及び徒然草等の和書、葉山氏が「耕余塾」で学んだ小笠原東陽関係書、東陽遺稿等々多数である。古文書は、大きく紙製の「手文庫」、桐箱の「手文庫」、掛硯（小箆筥）、箆筥（役用）に保存されており、紙製の「手文庫」は品川沖の御台場普請石材納入に関する文書、桐箱「手文庫」は、村明細帳や年貢皆済・村絵図等名主・戸長関係文書、掛硯（小箆筥）には分家の証明をはじめとする江戸時代の証書類、箆筥（役用）には本目録の項目分類である冊、横帳、状に収録した主に土地関係、村協議費用関係が収納されていた。醤油醸造業関係は、木箱に保管されていた。全て文庫蔵に収蔵。整理後は、当公文書館で寄託を受けた。1674タイトル2362点。

葉山政夫氏所蔵文書は、全て新史資料で貴重なものばかりであるが、特に品川沖の御台場普請石材納入に関する文書は、葉山市郎右衛門が永嶋庄兵衛と両名で請負う石材納入について二人共その経営が困難に陥っていく様子が読み取れる文書である。永嶋庄兵衛家側の本件に関わる文書は「永嶋重美家海防関係文書」(『横須賀市文化財調査報告書 第七集』)として国学院大学名誉教授林陸朗氏の編集・校訂により刊行されている。葉山市郎右衛門側の文書が新出したことにより、両請負人の経営困難の様子がより具体的に把握することができるであろう。経営が苦しくなっていく理由を林氏が同報告書で述べられているので、併せて参照していただければ幸いである。

## 加藤寿昇氏所蔵文書

三浦市南下浦町上宮田

旧上宮田村における残存の数少ない名主文書である。村明細帳、五人組法度、触書、年貢割付状、年貢皆済目録、田方勘定帳が伝存し、村の様子的一端を知ることが出来る。全9点

## 金子 将氏所蔵文書

三浦市南下浦町上宮田

文書は、天保10年以降の「金子連起翁勤役中之手記」から大正期にいたる。当家の資料は平成9・10年の2カ年に渡って資料提供いただいた。10年に提供受けた分は、細分類はせずに資料として纏めたのち、編年を基本とし目録を作成した。全458点

## 須原武久氏所蔵文書

三浦市南下浦町上宮田

天保4年の運上金減額訴状から明治34年の芝原森林開墾許可書にいたる全17点。

神奈川湊における廻船問屋10名が浦賀奉行所に提出した請書は、県立公文書館が所蔵する神奈川宿青木町廻船問屋間宮家文書、同館が平成9年度に収集した同町廻船問屋紀伊国屋三郎兵衛家文書を補完する文書である。

## 長島光男氏所蔵文書

三浦市南下浦町上宮田

上総国小久保村名主から三浦郡津久井村名主に充てて出された、津久井村運上浦での夜中隠漁に関する詫び入れ証文。全1点

## 松原安雄氏所蔵文書

三浦市南下浦町上宮田

卷子仕立ての本書には、十劫寺・葉師堂の建立、棟上、供養等の時期が記載されている。新編相模国風土記稿に「○不動堂 笹塚不動」とある「笹塚」は、当家の文書からみて「篠塚」の誤りであろう。全2点、付録解説文。

## 長谷川稔氏所蔵文書

三浦市南下浦町金田

本冊に収録した長谷川家の古文書・資料は、昭和56年12月25日に浜田勘太氏が調査を開始した「長谷川家文書外総数調査 計174点」の一部（戸籍関係等除く）と三浦市教育委員会、当県立公文書館が調査を行った浜田氏調査外の資料の目録である。

浜田氏調査の文書は、同市教育委員会の「浜田文庫」として氏の他の研究資料と共に保管されていたため、同「浜田文庫」内資料として当県立公文書館発行の「神奈川県古文書資料所在目録第18集」に収録した。しかし、この関係資料は、その後平成9年5月13日同教育委員会から所蔵者長谷川稔氏に返却された（返却飯島文化財係長、同行田島）。従って、「浜田文庫」内資料として掲載した当家の文書は、当然本来の所蔵者の名の許に収録されるべきものであるから本目録に再録した。

長谷川稔氏の家は、江戸時代に三浦郡金田村名主（茂左衛門、平左衛門）を務めた家であったが、名主関係文書は現存しない。江戸時代には、鮮魚、海産物等を江戸に運んで財を成し土蔵を建てたという。所蔵古文書は、安政の大地震までその蔵に、その後石倉造りの倉に保管されていたが、昭和57年の家の新築と共に石倉も取り壊し、中にあった古文書は鼠害が激しかったために殆ど焼却処分されたという。同家の資料は、当館の古文書保存箱15箱に分納した。

No.1 古文書、No.2 横帳（香典帳）、No.3～5 資料、No.6 葉書・修了証・感謝状等、No.7 登記・戸籍関係、No.8～9 和書、No.10 明治・大正期教科書、No.11 昭和戦前期教科書、No.12～13 昭和戦後期教科書、No.14～15 その他図書

## 三富正夫氏所蔵文書

三浦市初声町下宮田

三浦郡下宮田村名主・組頭・年寄を務めた三富喜左衛門家の文書で寛文9年から大正期にいたる。全332点。江戸時代の相撲興行に関する資料がある。

## 最福寺所蔵文書

三浦市白石町

県史編集室、県立文化資料館が調査した残りの資料を整理・目録作成した。親鸞が、明教に充てた建長4年3月15日の書状写から昭和62年に至る資料である。全218件。

また、整理済文書の内、一部中性紙の保存袋に入れ替えた。同寺所蔵文書の整理済全資料の目録は、「神奈川県古文書資料所在目録 第11集」（平成元年2月発行）に収録してある。同寺所蔵文書の中には、室町時代初期の写本と推測される「伊勢物語」がある。

## 三浦市教育委員会所蔵文書

三浦市城山町

三浦市教育委員会に寄贈された3つの家の文書・資料である。

鳥井家文書：旧三崎町入船、鳥井氏から寄贈された明治30年から大正5年にいたる小学校・城ヶ島灯台・役場・病院の施設工事に関する文書である。全17点

鈴木家資料：鈴木寿一氏（三浦市南下浦町上宮田）から寄贈された明治期以後出版の「日本外史」や漢籍等である。全44冊

長谷川治男氏旧蔵文書：

明治初期、三戸村戸長を務めた長谷川九郎右衛門が、明治15年に謄写した田畑山林に関する「反別取調野帳」と「地価収穫取調簿」である。元来、全15冊本であったが10冊目が散逸し、現存は14冊である。元々土蔵で保管していたが、平成7年の台風被害により土蔵を取り壊したため同年10月三浦市教育委員会に寄贈された。

長谷川治男氏の家は、三浦市初声町三戸2593。

（解説は、田島光男が執筆した）

## 神奈川県古文書資料所在目録

### 第21集

編集 神奈川県立公文書館  
発行 神奈川県立公文書館  
館長 寺岡 明人  
〒241-0815 横浜市旭区中尾1-6-1  
☎ (045) 364-4456  
FAX (045) 364-4459

発行日 平成11年3月31日

印刷所 株式会社 野毛印刷社  
〒231-0012 横浜市中区相生町5-79  
☎ (045) 252-2511  
FAX (045) 252-8826



